

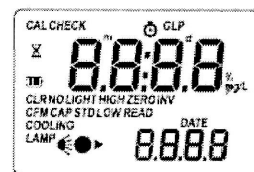
残留塩素計 EA776C-1 測定方法 (取扱説明書より当該部分を抜粋)

測定方法

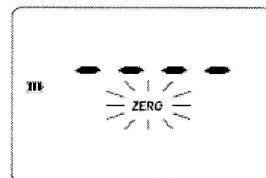
本器は試料に含まれる濁りや色を補正するために 2 段階の操作を行います。最初に試料そのものを測定の基準とするためにゼロ設定を行います。次にその試料に試薬を加えて測定を行います。

- ・ **ON/OFF** ボタンを押し本器の電源を入れます。

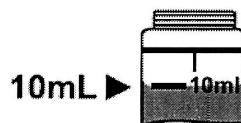
画面には一瞬すべての表示が現れます。



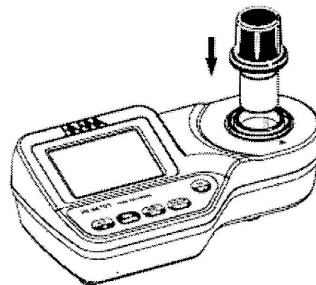
- ・ ビープ音が鳴って画面にダッシュマークが現れると、測定の準備は完了です。また“ZERO”の点滅により最初にゼロ設定が必要なことをお知らせします。



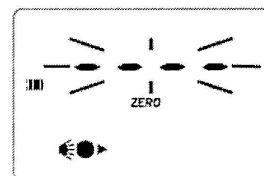
- ・ ガラスセルに測定する試料を 10ml のラインまで採取してください。この時試薬はまだ入れません。(ガラスセルの上部のラインは 10ml ではないのでご注意ください)



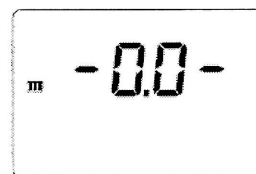
- ・ 黒いキャップを被せて本体の測定孔にセルを挿入してください。セルを回転させ固定される位置(本体とキャップの矢印が合うところ)で留めます。



- ・ **ZERO/CFM** ボタンを押します。液晶画面ではダッシュマークが点滅し、下部にランプ、ガラスセル、受光部を表す測定マークが現れます。

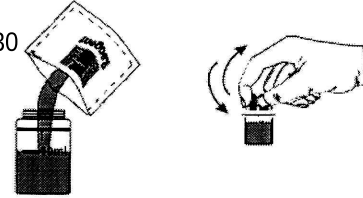


- ・ その後液晶画面に“-0.0-”の表示が現れ、この状態で正常にゼロ設定が完了しました。

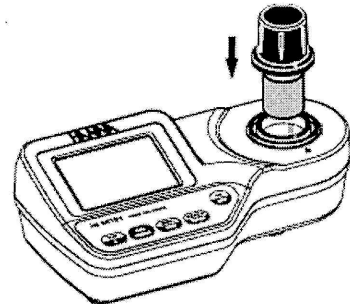


- ・ “-0.0-” が表示されている状態でガラスセルを取り出します。

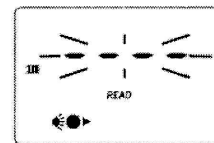
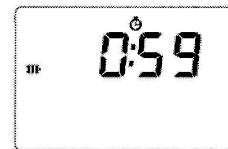
- ・ ガラスセルのキャップを開け、粉末試薬EA776C-10、-30を1袋加えます。キャップを閉め、約 20 秒間試料が泡立たない程度に軽く振ってください。（測定する試料が“海水”の場合は約 2 分間振ります）



- ・ もう一度本体の測定孔にセルを挿入します。セルを回転させ固定される位置（本体とキャップの矢印が合うところ）で留めます。



- ・ **READ/▶/TIMER** ボタンを約 3 秒間長押しします。自動的に 60 秒のカウントダウン機構が作動し、ディスプレイ上には読み取りまでの残り秒数が表示されます。カウントダウンが終わるとピープ音が鳴り測定が始まります。



注 意

この時 **READ/▶/TIMER** ボタンを約 3 秒間長押しする代わりに **READ/▶/TIMER** ボタンを通常通りに押すことで 60 秒のカウントダウンを作動させずに測定することも可能です。しかしこの場合は未飽和の DPD 試薬が完全に降下していない影響で測定値が実際より高く表示される恐れがありますので、1 分間待ってから測定してください。液体試薬を使用する場合はカウントダウンを使用する必要はありません。

- ・ 測定が終了すると遊離残留塩素濃度の測定値が画面に表示されます。

（測定単位は直読式で **mg/L = ppm** となっております）

